

栄養診療部

■ スタッフ

部長	兼児 敏浩（医師）
副部長	矢野 裕（医師）
副部長/栄養士長	小出 知史（管理栄養士）
管理栄養士	16 名（常勤 5 名 非常勤 11 名）

■ 特色

患者個々に沿った適切な栄養管理により、疾病の治療、回復、予防を図るための栄養管理（患者給食、栄養指導等）の様々な業務を行っています。

■ 栄養管理業務

1. 患者給食

患者給食は国によって定められた食事基準に基づいて実施しています。様々な疾病治療の一環であると共に、入院生活を支える楽しみとしての食事となるよう工夫しています。（年間のべ約 46 万食を提供）

一般的な食事として、朝食はご飯食かパン食の選択、昼夕食については一般食において肉または魚の定食パターン、麺セット、パンセット、寿司の 5 種類の選択メニューと、化学療法時の生食禁止対応の 3 種類があります。また、季節を感じることができ、患者さんの健康を願う『行事食』の提供を年中行事に合わせて提供しています。特別治療食は、各種疾患ガイドラインに沿って病態に応じた栄養量へ調整し、医師の指示に基づき提供しています。

「日本人の食事摂取基準（2020 年版）」や各種治療ガイドライン等の変更に伴い、当院の『食事基準の手引き』を改定しています。多様な患者給食に対応するため、食種や採用している濃厚流動食の種類等も必要に応じて更新しています。

給食業務は委託しており、給食会社と協力し、安全で衛生的な美味しい食事を提供できるよう心掛けています。隔月 1 回、病院職員と給食会社職員にて患者給食業務定例会を開催しています。

また、入院患者さんを対象に食事アンケートを実施し、より良い病院食の提供を目指しています。

2. 栄養診療部運営委員会

医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、事務職員等の

委員にて隔月 1 回会議を行い、大学病院の栄養部門として業務の改善・改新に努めています。

3. 栄養指導

個人栄養指導

糖尿病、肝疾患、腎疾患、脂質異常症、肥満、高血圧、心疾患、消化管疾患、先天性代謝異常症、低栄養、癌化学療法、術前術後の栄養管理など、病態を考慮した食事療法を提案しています。入院では病院食に沿った栄養量と食事内容について、外来では個々の生活環境に合った食事療法の実践方法について、患者さんやご家族を支援しています。栄養指導時に体組成や握力の測定を行い、栄養状態の評価と指導のツールとして活用しています。また、2023 年 9 月より外来化学療法室と連携し、「外来栄養食事指導料（外来化学療法での栄養管理）」の算定を開始しました。

集団栄養指導

2020 年 2 月以降、感染対策のため中止していましたが、2022 年 10 月より再開しました。

医師、管理栄養士、看護師、薬剤師、理学療法士、臨床検査技師等の協力により行っています。

- ・両親学級（毎月第 2 水曜日）
- ・減塩教室（6 回）
- ・糖尿病教室（1 回）
- ・膵がん教室（4 回）
- ・膵がんグルメディカル教室（1 回）
- ・がん教室（1 回）

各教室では入院・外来患者さんとそのご家族を対象に、関係スタッフからの講義と質疑応答を行っております。減塩教室、グルメディカル教室では、院内のキッチンスタジオにて管理栄養士の調理実演も行っています。

4. チーム医療

病棟担当栄養士制

主担当・副担当の 2 名体制にて各病棟の栄養管理を行っています。必要に応じて担当病棟の入院診療計画書作成、特別な栄養管理を必要とする患者さんについての栄養管理計画書作成、内容や食形態の調整を行い、早期回復・退院に向けて他の医療スタッフと連携し取り組んでいます。

入院栄養管理体制、管理栄養士の病棟配置

2022年度の診療報酬改定にて「入院栄養管理体制加算」が新設され、2022年4月より7階北病棟、2023年6月より10階北、11階北病棟、2023年10月より9階北、9階南病棟に専任管理栄養士を配置しています。医師、看護師らと連携し、入院栄養管理体制を整えています。

早期栄養介入管理

2022年4月より、専任管理栄養士が入院早期からの栄養介入管理を医師、看護師、薬剤師らと連携して行い、「早期栄養介入管理加算」の算定を開始しました。病床編成の変更に伴い、2024年4月よりHCU病床（8病床）、2024年5月より救命救急病床（8病床）を対象に算定をしています。

栄養サポートチーム-Nutrition Support Team(NST)-

医師、歯科医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、理学療法士、言語聴覚士、作業療法士、臨床検査技師、事務職員等で活動しています。週1回のカンファレンスとラウンド、年数回のNST定例会を開催しています。NST ニュースを全職員にメールで配信し、電子カルテのポータルサイトにもアップしました。当院多職種講師による勉強会は2024年11月6日に「心不全に対する多職種の介入」をテーマとし、会場とオンラインを組み合わせたハイブリッド形式で開催しました。また、日本臨床栄養代謝学会・日本病態栄養学会のNST稼働施設として認定されています。

緩和ケアチーム

医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、臨床心理士、医療ソーシャルワーカー等のメンバーで活動しています。週1回のカンファレンスとラウンドに参加し、月1回の定例会に出席しています。

褥瘡対策チーム

医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、理学療法士、事務職員等で活動しています。週1回のカンファレンスに参加し、月1回の委員会に出席しています。

摂食嚥下支援チーム

医師、看護師、言語聴覚士、管理栄養士、歯科医師、歯科衛生士で活動しています。隔週1回のカンファレンスに参加しています。

不定期に嚥下食等の試食検討会を行い、嚥下調整食等の見直しを行っています。

移植チーム

医師(精神科、肝胆膵外科、腎泌尿器科等)、移植コーディネーター看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療

法士、事務職員等で活動しています。月1回程度のカンファレンスに参加しています。

糖尿病ケアチーム

医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師、理学療法士で活動しています。糖尿病教室の開催や血糖測定器の運用方法の検討、糖尿病パンフレットの作成・更新等を行っています。

心臓リハビリカンファレンス

医師、看護師、理学療法士、管理栄養士、臨床心理士、医療ソーシャルワーカー等で活動しています。週1回のカンファレンスに参加しています。

5. 実習生・研修生の教育

実習生の受け入れ

管理栄養士養成校（名古屋文理大学、中部大学、金城学院大学、鈴鹿医療科学大学）より実習生を受け入れました。献立作成や院内キッチンスタジオでの調理実習、厨房での調理作業を通して、大量調理や給食管理について学び、栄養指導やカンファレンスの見学では、実際に患者さんと接することで栄養管理業務を体験できるようにしています。さらに、看護部、薬剤部、検査部、リハビリテーション部、医事課等、他部門の見学や講義を通して、多職種連携の必要性や、病院の業務についての理解を深めることができるカリキュラムを組んでいます。

また、他部門の実習生・研修生に対しては、見学や講義を通して病院の管理栄養士業務について紹介しています。

■ 活動実績

1. 患者給食数

一般治療食

218,190食(非加算)

特別治療食

219,535食(加算111,727食、非加算132,320食)

食堂加算

159,506食

選択メニュー提供料金算定件数

33,228食

2. 栄養指導件数

個人栄養指導 一般治療食

49 件(非加算 入院 30 件、外来 19 件)

個人栄養指導 特別治療食

入院 1,476 件(加算 284 件、非加算 308 件、
病棟専従による非加算 884 件)
外来 2,968 件(加算 2,196 件、非加算 690 件、
化学療法 加算 66 件、化学療法 非加算 38 件)

集団栄養指導

入院 14 件 (加算 3 件、非加算 11 件)
外来 107 件 (加算 33 件、非加算 74 件)

3. その他加算

糖尿病透析予防

7 件

栄養サポートチーム加算

340 件 (加算 289 件、病棟専従による非加算 51 件)

緩和ケア診療加算

125 件

栄養情報提供加算

10 件

栄養情報連携料

58 件

早期栄養介入管理加算

582 件

早期栄養介入管理加算 (入室早期から経腸栄養開始)

353 件

入院栄養管理体制加算

17,097 件

4. 臨床研究等の実績

著書

小出知史. 日本栄養士会災害支援チームの活動・特集
能登半島地震レポート. 月刊糖尿病ライフ さか
え. 2024 vol164 No9. p40-43

小出知史. 災害に対する CDEJ・CDEL 栄養士の役割と
は (BCP(Business continuity plan:事業継続計画)
を考える・5 つのメディカルエッセンス. CDEJ News
Letter. 第 85 号. p 10

学会

小出知史. 病院食における「超加工食品」の割合につ
いて. 第 67 回日本糖尿病学会年次学術集会 (2024. 5. 17
～19 東京国際フォーラム)

森貴宣. 糖尿病患者における BIA 法による、四肢骨格

筋指数の低下の割合と影響を及ぼす因子の検討. 第 11
回 JADEC 年次学術集会. (2024. 7. 20 京都国際会館)
中馬優似. SMBG 機器の運用に関する当院での取り組み.
第 11 回 JADEC 年次学術集会 (2024. 7. 20 京都国際会
館)
廣島佑希子. 膵がんグルメディカル教室の再開と課
題について. 第 55 回日本膵臓学会大会(2024. 7. 25 ラ
イトキューブ宇都宮)

竹越七海. 当院の糖尿病食の見直しについて. 第 98
回日本糖尿病学会中部地方会 (2024. 9. 14 金沢市文化
ホール)

田辺紗弥香. 早期からの栄養介入が有効であった肝
内胆管癌術後の栄養管理の一例. 第 35 回三重 NST 研
究会学術集会 (2024. 11. 9 松阪総合病院)

蕪木寛子. 当院の入院栄養管理体制に対する取り組み
と現状. 第 28 回日本病態栄養学会年次学術集会
(2025. 1. 18 京都国際会館)

廣島佑希子. 肝胆膵・移植外科および消化器・肝臓内
科病棟における病棟専従管理栄養士の栄養管理業務
について. 第 28 回日本病態栄養学会年次学術集会
(2025. 1. 19 京都国際会館)

後藤綾太. 褥瘡を有する患者に対して微量元素含有
栄養補助食品の使用と多職種での介入が褥瘡改善に
有効であった一例. 第 28 回日本病態栄養学会年次学
術集会 (2025. 1. 19 京都国際会館)

竹越七海. 栄養指導がサルコペニアの改善に有効であ
った腎移植患者の一例. 第 58 回日本臨床腎移植学会
(2025. 2. 7 広島国際会議場)

小出知史. 当院における防災対策および災害支援活動
への取り組みについて. 令和 6 年度栄養指導事例・研
究発表会 (2025. 3. 8 三重県勤労者福祉会館)

石田優衣. 同種末梢血幹細胞移植患者に対する介入
の一例と新食種作成の取り組み. 令和 6 年度栄養指導
事例・研究発表会 (2025. 3. 8 三重県勤労者福祉会館)

講演

小出知史. 健康づくり フレイル予防と栄養. 伊賀
地区生活改善推進連絡協議会研修会 (2024. 4. 17 三
重県伊賀庁舎)

小出知史. がん患者と栄養. 三重県がんにおける質の高い看護師育成研修 (2024. 7 三重大学医学部附属病院)

森貴宣. 当院での食事療法について. 第3回糖尿病・消化器連携を考える会～生活習慣病を考える～ (2024. 8. 30 津 CenterPalace)

森貴宣. 肝疾患病態栄養専門管理栄養士について. あすか肝疾患 WEB 講演会 (2024. 9. 4 じゅうろくプラザ)

成田真奈. 管理栄養士による減塩指導の実際～個人指導と集団教室～. 栄養指導・減塩の重要性と高血圧症 (2024. 9. 11 web)

小出知史. 会長特別企画①『災害経験を踏まえたこれからの糖尿病災害対策』 「JDA-DAT による災害支援活動」. 第98回日本糖尿病学会中部地方会 (2024. 9. 14 金沢市文化ホール)

森貴宣. 肝疾患の栄養管理について～肝硬変～. 第1回日本病態栄養学会近畿地方会 (2024. 9. 14 中央電気倶楽部)

成田真奈. 膵がん診断時から気を付けたい栄養の話. パープルリボンウォーク&セミナー2024 in 津 (2024. 9. 15 三重大学)

成田真奈. 透析患者における食事療法. 透析患者の高カリウム血症治療を考える会 (2024. 9. 26 web)

小出知史. 大学病院における災害時食事対応への備えについて. 令和6年度給食施設従事者研修会 (津地域栄養管理ネットワーク研究会合同研修会) (2024. 10. 31 三重県津庁舎)

小出知史. 糖尿病重症化予防における食事療法. 令和6年度糖尿病重症化予防人材育成研修会 (2024. 11. 16 三重県勤労者福祉会館)

小出知史. 脳卒中の予防と食事. 地域連携研修会 (2024. 11. 21 三重大学医学部附属病院)

小出知史. 症例検討「クモ膜下出血をきたした2型糖尿病患者の栄養マネジメント」. 2024年度病態栄養専門管理栄養士のための更新者用教育セミナー (2025. 1. 16 京都国際会館)

森貴宣. 症例検討セッション～腹水と肝性脳症を伴

う非代償性肝硬変患者～. 第28回日本病態栄養学会年次学術集会 (2025. 1. 18 京都国際会館)

小出知史. 腎臓にやさしい食事～はじめの一步～. 三重県慢性腎臓病対策県民公開講座 (2025. 2. 23 鈴鹿市文化会館けやきホール)

森貴宣. 健康寿命を延ばすために大切な『栄養と食事』について. FrontLine 三重大学病院 (2025. 2. 28 三重テレビ)

小出知史. 心臓を守る食事のコツ. NP0 法人みえ循環器・腎疾患ネットワーク「市民公開講座」 (2025. 3. 15 名張市武道交流館いきいき多目的ホール)

朝倉秋絵. 抗がん剤、放射線治療中の食事について. がんの子どもを守る会東海支部 2024 年度講演会 (2025. 3. 30 三重大学医学部附属病院)

資格等 (取得者数)

病態栄養専門管理栄養士 (5 名)

がん病態栄養専門管理栄養士 (1 名)

肝疾患病態栄養専門管理栄養士 (1 名)

NST 専門療法士 (2 名)

日本糖尿病療養指導士 (1 名)

心不全療養指導士 (1 名)

三重県肝炎医療コーディネーター (2 名)

日本栄養士会災害支援チーム リーダー (4 名)

日本栄養士会災害支援チーム スタッフ (7 名)

<https://www.hosp.mie-u.ac.jp/bumon/eiyou/>